

農林業費

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	農業委員会運営					事業類型	指導・規制・許認可					
担当部課	農業委員会事務局											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
根拠法令等	農業委員会等に関する法律、農地法、農業経営基盤強化促進法											
事業目的 <small>(最終的に目指す状態)</small>	農業委員及び農地利用最適化推進委員に対する委員報酬の支払い、毎月の農業委員会総会における農地法等に基づく審議等、委員の資質向上のための視察研修、農業者の声を政策に反映するための意見の提出、農地法等に基づく許可及び届出等の受理、農地台帳システムの管理運営及び農地情報の公表を行う。											

行政コスト計算書

(単位 円)

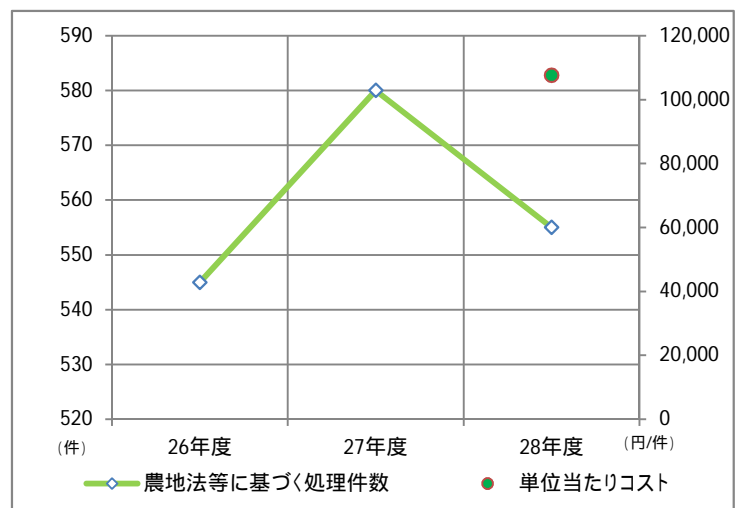
勘定科目		28年度	勘定科目	28年度		
経常費用	人件費	職員給与費	36,780,229	経常収入	市税	0
		賞与等引当金繰入額	2,978,174		保険料	0
		退職手当引当金繰入額	4,162,041		国庫支出金	0
		その他	12,979,200		都支出金	4,002,000
	小計	56,899,644	分担金及び負担金		0	
	物件費等	物件費	2,245,088		使用料及び手数料	31,400
		維持補修費	0		繰入金	0
		減価償却費	479,520		その他	541,477
		その他	0		小計	4,574,877
	小計	2,724,608	経常収支差額(A)		55,157,375	
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		その他	0		特別収支差額(B)	0
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		55,157,375	
	小計	59,624,252	一般財源調整額(D)		0	
移転費用	108,000	一般財源充当額(E)	55,265,744			
小計	59,732,252	再計(C) + (D) + (E)	108,369			

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	農業委員報酬【8,601,600円】 農地利用最適化推進委員報酬【4,377,600円】 農業委員会だより作成委託【104,025円】 農業委員会視察研修用バス運行手配委託【189,274円】 農地台帳システム保守業務委託【907,200円】	農業委員会交付金【4,002,000円】

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.10人	0.40人	5.02人	4.62人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.10人	0.40人	5.02人	4.62人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
農地法等に基づく処理件数	545	580	555	25
単位当たりコスト			107,626	
農業委員会総会開催件数	12	13	13	0
単位当たりコスト			4,594,789	
システムでのデータ運用数(筆数)		58,711	58,711	0
単位当たりコスト			1,017	

事業実績

28年度 目標	農業委員会総会における審議の充実を図る。また、市内遊休農地の解消に向けて、担い手への農地の集積を推進する。	27年度末時点 の課題と対応	農業委員と新設の農地利用最適化推進委員の役割分担が明確になっていない。
解決			
主な 活動実績	<p>農業委員及び農地利用最適化推進委員に対する委員報酬を毎月21日頃に口座振替により支払った。</p> <p>遊休農地に対する利用状況調査・利用意向調査(299件)を行った。</p> <p>担い手等への農地の利用集積につながる利用権設定に係る計画の決定(3件)。</p> <p>4月に施行した新たな農業委員会制度のもと、毎月の農業委員会総会を開催し農地法等に基づく審議等を行い、28年度中に農地法等に基づく権利移動許可(9件)、転用届出(377件)を受理した。</p> <p>10月中旬には、イオンアグリ茨城牛久農場を訪問し先進事例視察研修を実施した。そのほか東京都農業会議が都内農業者の声を集約して国及び都に提出する際、政策に反映すべき八王子市の意見を審議決定して東京都農業会議に提出した。</p>		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	地図情報システムから地図を出力することとした。住宅地図と筆の重ね図のほか、直近の航空写真を用いることができたため、調査効率が飛躍的に向上し、懸案となっていた遊休農地に対して利用意向調査(299件)を完了することができた。
----	--

今後の取組

29年度 目標	農業委員会総会における審議の充実を図る。また、市内遊休農地の解消に向けて、担い手等への農地の利用集積を推進する。	28年度末 時点の課題	意向調査の結果を、利用集積につなげていくこと。
29年度の 取組	農業委員、農地利用最適化推進委員と事務局との連携はもとより農林課とも連携し、農地バンクが機能し利用促進するよう引き続き進めていく。	30年度の 計画	担い手への農地の利用集積・集約化や新たに農業経営を営もうとする者の参入促進、遊休農地に関する措置などの農地の保全と利用促進。

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	国有農地の管理					事業類型	その他					
担当部課	農業委員会事務局											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
根拠法令等	東京都の農業経営基盤強化措置特別会計による事務											
事業目的 (最終的に目指す状態)	国有農地の見回り管理のほか、借受人の名義変更受付等を行う。											

行政コスト計算書

(単位 円)

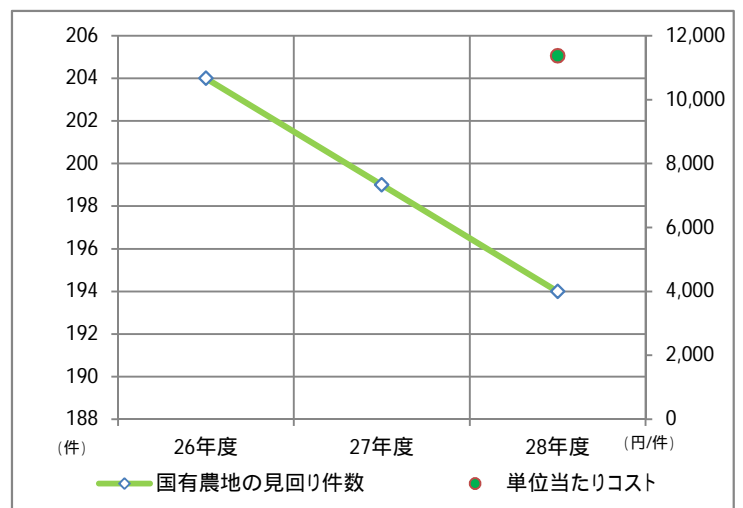
勘定科目		28年度		勘定科目		28年度	
経常費用	人件費	職員給与費	1,538,615	経常収入	市税	0	
		賞与等引当金繰入額	124,585		保険料	0	
		退職手当引当金繰入額	0		国庫支出金	0	
		その他	0		都支出金	542,000	
	小計	1,663,200	分担金及び負担金		0		
	物件費等	物件費	542,000		使用料及び手数料	0	
		維持補修費	0		繰入金	0	
		減価償却費	0		その他	277,629	
		その他	0		小計	819,629	
	小計	542,000	経常収支差額(A)		1,385,571		
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0	
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0	
		その他	0		特別収支差額(B)	0	
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		1,385,571		
	小計	2,205,200	一般財源調整額(D)		0		
移転費用	0	一般財源充当額(E)	1,929,035				
小計	2,205,200	再計(C) + (D) + (E)	543,464				

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	消耗品費(図書等購入) [483,962円]	農業経営基盤強化措置特別会計事務取扱交付金 [542,000円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.30人	0.27人	0.21人	0.06人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.30人	0.27人	0.21人	0.06人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
国有農地の見回り件数	204	199	194	5
単位当たりコスト			11,367	
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	年に2回、国有農地の見回りを実施し、現状把握に努める。また、必要に応じて借受人の名義変更受付等を行う。	27年度末時点 の課題と対応	特になし
主な 活動実績	国有農地の見回りを年に2回、全件実施した。また28年度は、これまで紙ベースだった案内図と現地写真をデータで一元管理することとした。これによりスキルに左右されない効率的な見回りが可能となった。		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	市内国有農地全件の図面と地図をデータ化し、効率性を向上させた。
----	---------------------------------

今後の取組

29年度 目標	年に2回、国有農地の見回りを実施し、現状把握に努める。また、必要に応じて借受人の名義変更受付を行う。	28年度末 時点の課題	特になし
29年度の 取組	年に2回、国有農地の見回りを実施し、現状把握に努める。	30年度の 計画	特になし

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	農業者年金業務受託					事業類型	その他					
担当部課	農業委員会事務局											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
根拠法令等	農業者年金業務委託手数料交付金要綱											
事業目的 (最終的に目指す状態)	農業者年金の受託業務を遂行し、農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図る。											

行政コスト計算書

(単位 円)

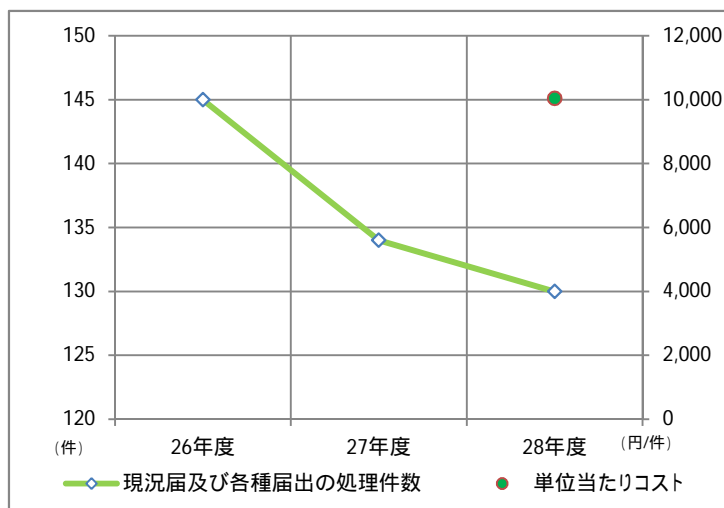
勘定科目		28年度	勘定科目	28年度		
経常費用	人件費	職員給与費	1,172,278	経常収入	市税	0
		賞与等引当金繰入額	94,922		保険料	0
		退職手当引当金繰入額	0		国庫支出金	0
		その他	0		都支出金	0
	小計	1,267,200	分担金及び負担金		0	
	物件費等	物件費	37,421		使用料及び手数料	0
		維持補修費	0		繰入金	0
		減価償却費	0		その他	259,227
		その他	0		小計	259,227
	小計	37,421	経常収支差額(A)		1,045,394	
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		その他	0		特別収支差額(B)	0
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		1,045,394	
	小計	1,304,621	一般財源調整額(D)		0	
移転費用	0	一般財源充当額(E)	1,244,579			
小計	1,304,621	再計(C) + (D) + (E)	199,185			

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	消耗品費(図書等購入) [29,321円]	農業者年金業務委託手数料 [225,400円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.15人	0.18人	0.16人	0.02人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.15人	0.18人	0.16人	0.02人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
現況届及び各種届出の処理件数	145	134	130	4
単位当たりコスト			10,036	
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	農業者年金加入者・受給者から提出される現況届(6月末期限)を取りまとめ、独立行政法人農業者年金基金へ提出する。また、裁定請求や住所変更などの手続を随時受け付ける。このほか、加入促進のため「農業委員会だより」への掲載や窓口でのパンフレットの配布などを行う。	27年度末時点 の課題と対応	特になし
主な 活動実績	窓口や郵送により113件の現況届の提出を受け付け、独立行政法人農業者年金基金へ提出した。また、受給開始や死亡時の裁定請求を15件受け付け、独立行政法人農業者年金基金へ提出した。このほか、年2回発行する「農業委員会だより」に記事を掲載するとともに窓口でパンフレットの配布を行い農業者年金への加入促進を図った。		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	農業者年金基金より最新の事務処理マニュアルが届いたため、制度に関する認識を深め、年金受給者に関する事務手続きが円滑に進むよう、事務処理効率の改善に努めた。
----	---

今後の取組

29年度 目標	農業者年金加入者・受給者から提出される現況届(6月末期限)を取りまとめ、独立行政法人農業者年金基金へ提出する。また、裁定請求や住所変更などの手続を受け付ける。このほか、加入促進のため「農業委員会だより」への掲載や窓口でのパンフレットの配布などを行う。	28年度末 時点の課題	特になし
29年度の 取組	受け付けた現況届等を漏れなく処理するとともに、「農業委員会だより」への掲載や、窓口でのパンフレット配布などにより加入促進に努める。	30年度の 計画	特になし

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	農林行政の管理					事業類型	イベント					
担当部課	産業振興部農林課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	01	農業費	目	02	農業総務費
根拠法令等	補助金等の手続きに関する規則、農林畜産物品評会(JA八王子農業祭)事業負担金交付要綱											
事業目的 (最終的に目指す状態)	JA八王子主催の農業祭への協力や各種団体会員として、農林行政情報交換を行う。											

行政コスト計算書

(単位 円)

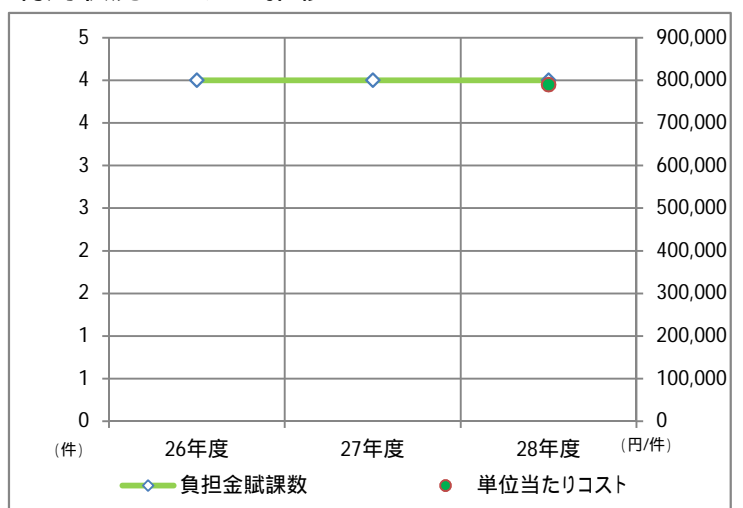
勘定科目		28年度		勘定科目		28年度	
経常費用	人件費	職員給与費	805,942	経常収入	市税	0	
		賞与等引当金繰入額	65,259		保険料	0	
		退職手当引当金繰入額	71,764		国庫支出金	0	
		その他	0		都支出金	0	
	小計	942,965	分担金及び負担金		0		
	業務費用	物件費	0		使用料及び手数料	0	
		維持補修費	0		繰入金	0	
		減価償却費	0		その他	0	
		その他	0		小計	0	
	小計	0	経常収支差額(A)		3,160,565		
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0	
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0	
		その他	0		特別収支差額(B)	0	
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		3,160,565		
	小計	942,965	一般財源調整額(D)		0		
移転費用	2,217,600	一般財源充当額(E)	3,182,602				
小計	3,160,565	再計(C) + (D) + (E)	22,037				

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	負担金 [2,217,600円]	

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.18人	0.18人	0.11人	0.07人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.18人	0.18人	0.11人	0.07人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
負担金賦課数	4	4	4	0
単位当たりコスト			790,141	
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	JA八王子主催の農業祭への協力や各種団体会員として、農林行政情報交換を行う。	27年度末時点 の課題と対応	特になし
			-
主な 活動実績	JA八王子主催の農業祭への協力や各種団体会員として、農林行政情報交換を行う。		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	
----	--

今後の取組

29年度 目標	引き続き、JA八王子主催の農業祭への協力や各種団体会員として、農林行政情報交換を行う。	28年度末 時点の課題	特になし
29年度の 取組	JA八王子主催の農業祭への協力や各種団体会員と連携し、農林行政情報交換を行う。	30年度の 計画	現状維持

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	遊休農地活用支援					事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部農林課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
根拠法令等	東京都ストップ遊休農地再生事業交付要綱、八王子市農地再生事業補助金交付要綱											
事業目的 <small>(最終的に目指す状態)</small>	東京都の補助事業を活用して、遊休農地の増加を防ぐことを目的とする。 本事業は、「遊休農地活用支援」であるが、ここでは、東京都の補助事業を対象としている。											

行政コスト計算書

(単位 円)

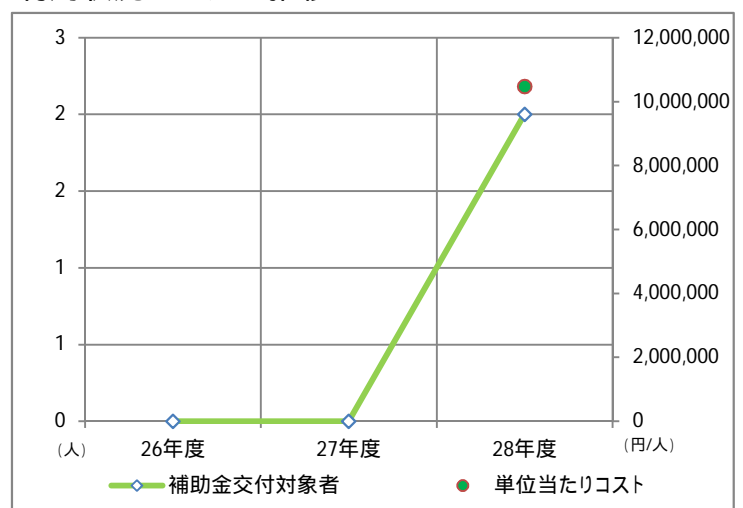
勘定科目		28年度	勘定科目	28年度		
経常費用	人件費	職員給与費	11,869,317	経常収入	市税	0
		賞与等引当金繰入額	961,084		保険料	0
		退職手当引当金繰入額	1,056,883		国庫支出金	0
		その他	0		都支出金	2,759,000
	小計	13,887,284	分担金及び負担金		0	
	物件費等	物件費	3,968,803		使用料及び手数料	0
		維持補修費	0		繰入金	0
		減価償却費	0		その他	0
		その他	0		小計	2,759,000
	小計	3,968,803	経常収支差額(A)		18,180,087	
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		その他	0		特別収支差額(B)	0
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		18,180,087	
	小計	17,856,087	一般財源調整額(D)		0	
移転費用	3,083,000	一般財源充当額(E)	18,504,642			
小計	20,939,087	再計(C) + (D) + (E)	324,555			

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	政策補助金 [3,083,000円]	都支出金 [2,759,000円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	1.06人	1.52人	1.62人	0.10人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.48人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.54人	1.52人	1.62人	0.10人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
補助金交付対象者			2	2
単位当たりコスト			10,469,544	
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	遊休地化した農地の樹木の抜根や瓦礫の除去及び整地することで、農地の再生を行う。	27年度末時点 の課題と対応	28年度からの事業 -
主な 活動実績	整備件数:2件 整備対象面積:2,802m ² 補助金交付金額(509,000円)支給対象者2名		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	遊休農地の再生を目的に事業を実施する。
----	---------------------

今後の取組

29年度 目標	東京都の補助事業を活用して、遊休地化した農地の樹木の抜根や瓦礫の除去及び整地することで、農地の再生を行う。	28年度末 時点の課題	補助の申請手続きが複雑なため、農家へ補助事業の周知が必要である。
29年度の 取組	遊休地化した農地の樹木の抜根や瓦礫の除去及び整地する補助事業の周知を他関係団体と連携して実施する。	30年度の 計画	引き続き、遊休地化した農地再生のため、樹木の抜根や瓦礫の除去及び整地する補助事業の周知を他関係団体と連携して実施する。

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	農作物獣害防止対策					事業類型	その他					
担当部課	産業振興部農林課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
根拠法令等	東京都農作物獣害防止対策事業基本計画											
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子市西部地区は、野生獣による農作物被害があるため、イノシシやハクビシンなどの小動物については、捕獲を中心とした対策を講じ、被害の軽減を図り、農家の営農意欲の増加につなげていく。											

行政コスト計算書

(単位 円)

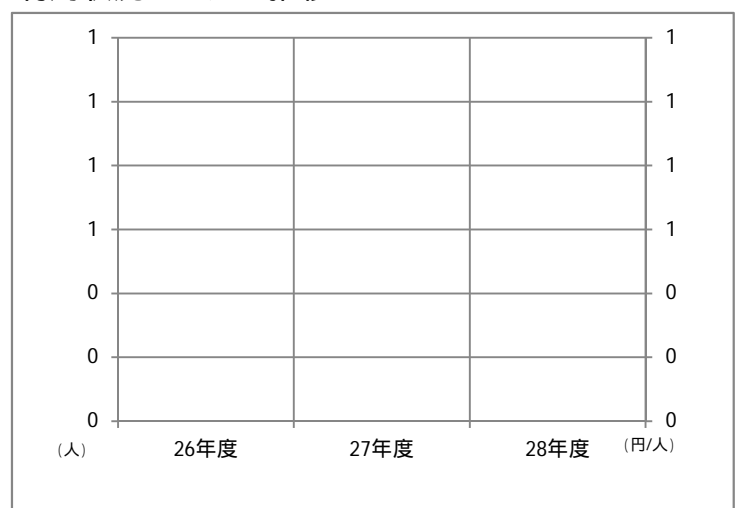
勘定科目		28年度	勘定科目	28年度		
経常費用	人件費	職員給与費	28,647,550	経常収入	市税	0
		賞与等引当金繰入額	2,319,653		保険料	0
		退職手当引当金繰入額	3,434,256		国庫支出金	0
		その他	0		都支出金	4,837,000
	小計	34,401,459	分担金及び負担金		0	
	物件費等	物件費	7,880,778		使用料及び手数料	0
		維持補修費	0		繰入金	0
		減価償却費	13,716		その他	54,119
		その他	0		小計	4,891,119
	小計	7,894,494	経常収支差額(A)		38,114,584	
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		その他	2,340		特別収支差額(B)	0
	小計	2,340	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		38,114,584	
	小計	42,298,293	一般財源調整額(D)		0	
移転費用	707,410	一般財源充当額(E)	39,526,910			
小計	43,005,703	再計(C) + (D) + (E)	1,412,326			

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	有害鳥獣駆除委託料 [5,403,000円] 発信機装着委託料 [346,000円] 備品購入費 [2,586,000円]	都支出金 [4,837,000円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	3.90人	2.99人	3.16人	0.17人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.80人	0.75人	0.05人
計	3.90人	3.79人	3.91人	0.12人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	農地に被害を与える野生獣の追い払いを行い、活動に必要な機材の整備を図り効果的に事業を進めていく。	27年度末時点 の課題と対応	獣害防止対策補助金も地区によって偏りがある。市全体で防除が進むように効果的に周知を行っていく。 捕獲檻に関しては、定期的にメンテナンスを行い、順次更新も行っていく。
解決			
主な 活動実績	<p>捕獲檻については、計画通り10台の更新を行った。 市内56か所に設置してある捕獲檻については、常に安全に捕獲活動が出来るように定期的なメンテナンスを行った。</p> <p>サル・イノシシ等の加害獣出没時現場対応及び対策 イノシシの檻・罠による捕獲（平成28年度 捕獲頭数 509頭） 小動物の檻による捕獲（平成28年度 捕獲頭数 496頭） 防除効果の高い簡易電気柵の普及（防除指導）（農作物獣害防止対策費補助金実績 25件 698,589円）</p>		
28年度評価	やや不十分	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	平成28年度に東京都で新設された、獣害防止対策地域強化推進事業にエントリーを行い、大型獣用の巨大捕獲檻をオリジナルで作製し来年度にかけて東京都と協力して捕獲の実証実験を行った。
----	--

今後の取組

29年度 目標	サル・イノシシ等の加害獣出没時現場対応及び対策 イノシシの檻・罠による捕獲 小動物の檻による捕獲 防除効果の高い防除柵の普及（防除指導）	28年度末 時点の課題	獣害防止対策補助金については、地区による隔たりをなくすため広く周知を行ったが、地区により、農家の防除の意識が薄いため市全体に広がらなかった。
29年度の 取組	捕獲檻の設置数を増加させ、追い払いだけではなく継続して捕獲も進めていく。また、捕獲従事者技術向上研修を行う等技術向上に関する活動にも力を入れて行く。	30年度の 計画	ICTを用いた捕獲の効率化の検証 事故防止対策講習会の開催

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	農業環境の整備					事業類型	ハード事業					
担当部課	産業振興部農林課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
根拠法令等	東京都補助金交付要綱											
事業目的 (最終的に目指す状態)	東京都の補助金を活用して、持続性の高い農業の推進に資するため、農業環境を整備する。											

行政コスト計算書

(単位 円)

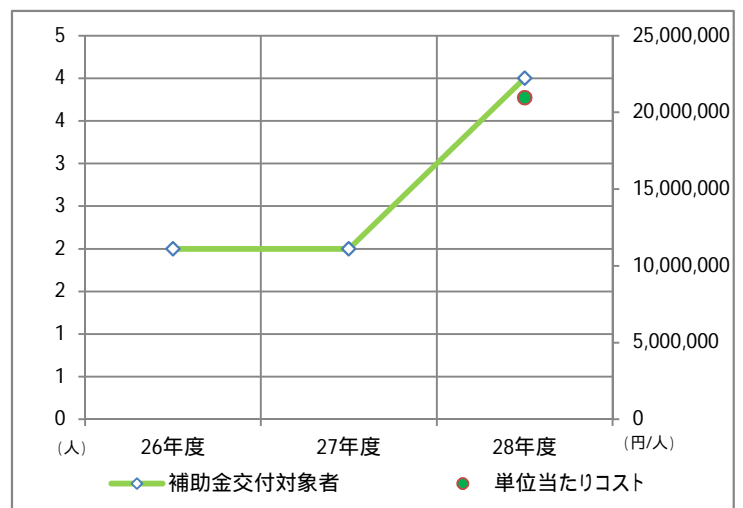
勘定科目		28年度	勘定科目	28年度		
経常費用	人件費	職員給与費	7,180,207	経常収入	市税	0
		賞与等引当金繰入額	581,396		保険料	0
		退職手当引当金繰入額	639,350		国庫支出金	0
		その他	0		都支出金	53,242,000
	小計	8,400,953	分担金及び負担金		0	
	物件費等	物件費	22,257,244		使用料及び手数料	400
		維持補修費	228,960		繰入金	0
		減価償却費	319,885		その他	2,523,960
		その他	0		小計	55,766,360
	小計	22,806,089	経常収支差額(A)		28,091,682	
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	3
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		その他	0		特別収支差額(B)	3
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		28,091,685	
	小計	31,207,042	一般財源調整額(D)		0	
移転費用	52,651,000	一般財源充当額(E)	32,758,926			
小計	83,858,042	再計(C) + (D) + (E)	4,667,241			

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	政策補助金 [52,400,000円] 工事請負費 [22,336,459円]	都支出金 [53,242,000円]

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	1.23人	0.89人	0.98人	0.09人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.04人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.27人	0.89人	0.98人	0.09人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
補助金交付対象者	2	2	4	2
単位当たりコスト			20,964,511	
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	農業環境を整備することより、農業経営の安定及び、農業生産意欲の向上を図る。	27年度末時点 の課題と対応	特になし
主な 活動実績	栽培施設整備補助金 対象農家 6戸 【整備内容】 パイプハウス10棟 2,163.6㎡、鉄骨ハウス1棟 420㎡、井戸 1基		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	
----	--

今後の取組

29年度 目標	農業環境を整備することより、農業経営の安定及び、農業生産意欲の向上を図る。	28年度末 時点の課題	農業環境を整備する補助事業の周知、支援対象者への支援
29年度の 取組	事業説明会を開催し、事業の周知を図る。また、申請書記入の支援を行う。	30年度の 計画	新たな要望に応えるため、事業説明会を実施

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	地域農業活性化推進					事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部農林課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
根拠法令等	八王子市農業振興計画											
事業目的 (最終的に目指す状態)	農地の減少・担い手の高齢化など、厳しい現状を改善するため、認定農業者の数を増やし、意欲のある農業者の支援に努め、地域農業の活性化を図る。											

行政コスト計算書

(単位 円)

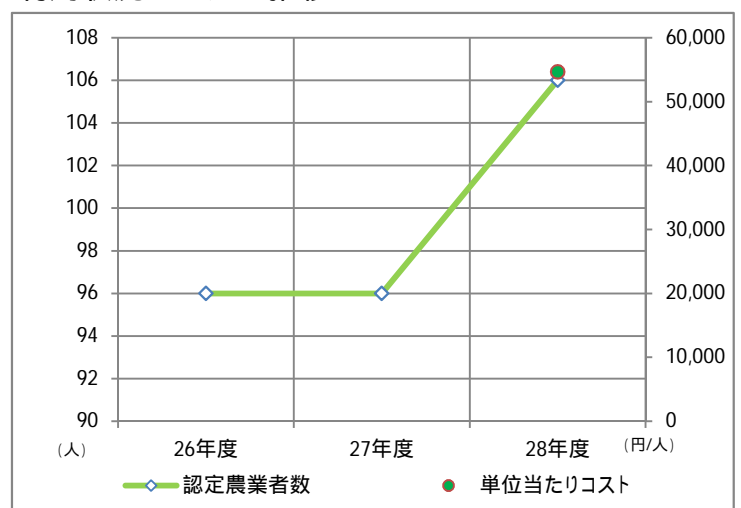
勘定科目		28年度	勘定科目	28年度			
経常費用	人件費	職員給与費	1,904,952	経常収入	市税	0	
		賞与等引当金繰入額	154,248		保険料	0	
		退職手当引当金繰入額	169,623		国庫支出金	0	
		その他	0		都支出金	0	
	小計	2,228,823	分担金及び負担金		0		
	業務費用	物件費等	物件費		265,398	使用料及び手数料	0
			維持補修費		0	繰入金	0
			減価償却費		0	その他	0
			その他		0	小計	0
	小計	265,398	経常収支差額(A)		5,795,221		
	その他の業務費用	その他	支払利息		0	特別費用	0
			徴収不能引当金繰入額		0	特別収入	0
			その他		0	特別収支差額(B)	0
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		5,795,221		
	小計	2,494,221	一般財源調整額(D)		0		
移転費用	3,301,000	一般財源充当額(E)	5,847,310				
小計	5,795,221	再計(C) + (D) + (E)	52,089				

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	政策補助金 [3,301,000円]	

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.06人	0.26人	0.26人	0.00人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.06人	0.26人	0.26人	0.00人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
認定農業者数	96	96	106	10
単位当たりコスト			54,672	
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	認定農業者の確保と育成に努める。	27年度末時点 の課題と対応	認定農業者数が増加していない。
			未解決
主な 活動実績	認定農業者の数 106経営体(平成29年3月31日現在) ○認定農業者制度説明会 1回実施 ○認定農業者個別相談会 3回実施		
28年度評価	達成	次年度の展開	拡充

改善・改革の取組

内容	28年度は96経営体から10経営体増の106経営体の農業者が農業経営改善計画の認定(認定農業者)を受けた。
----	---

今後の取組

29年度 目標	認定農業者の確保と育成に努める。	28年度末 時点の課題	認定農業者制度の周知等、支援体制の構築
29年度の 取組	認定農業者制度説明の実施に加え、個別相談会 を実施する。	30年度の 計画	引き続き、認定農業者制度説明の実施に加え、個 別相談会を実施する。

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	民有林振興						事業類型	補助・負担・支援				
担当部課	産業振興部農林課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	02	林業費	目	01	林業振興費
根拠法令等	八王子市下刈事業補助金交付要綱、八王子市間伐事業補助金交付要綱											
事業目的 <small>(最終的に目指す状態)</small>	各種団体と連携を取り、森林の各種機能を維持する。											

行政コスト計算書

(単位 円)

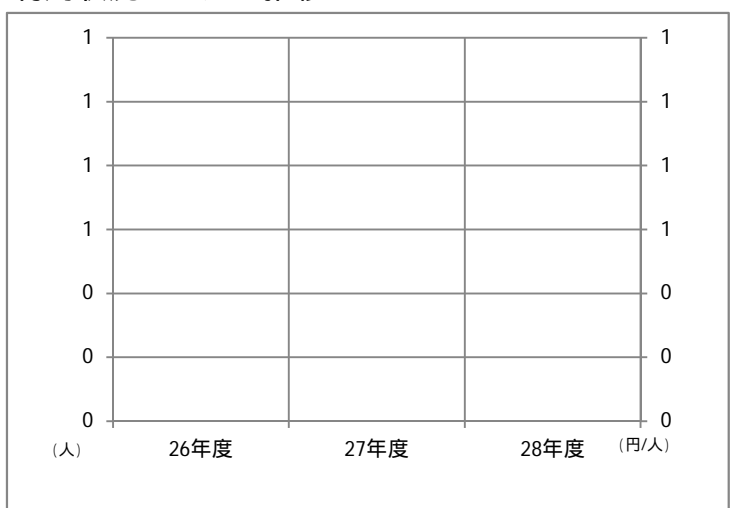
勘定科目		28年度	勘定科目	28年度		
経常費用	人件費	職員給与費	4,982,184	経常収入	市税	0
		賞与等引当金繰入額	403,419		保険料	0
		退職手当引当金繰入額	424,057		国庫支出金	14,999,867
		その他	0		都支出金	0
	小計	5,809,660	分担金及び負担金		0	
	物件費等	物件費	17,291,115		使用料及び手数料	0
		維持補修費	155,520		繰入金	0
		減価償却費	0		その他	187,744
		その他	0		小計	15,187,611
	小計	17,446,635	経常収支差額(A)		8,696,984	
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		その他	4,900		特別収支差額(B)	0
	小計	4,900	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		8,696,984	
	小計	23,261,195	一般財源調整額(D)		0	
移転費用	623,400	一般財源充当額(E)	9,083,912			
小計	23,884,595	再計(C) + (D) + (E)	386,928			

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	調査業務委託料【14,999,867円】 林道刈払業務委託料【1,611,754円】 八王子山火事防止協議会負担金【270,000円】	-

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.80人	0.71人	0.68人	0.03人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.80人	0.71人	0.68人	0.03人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種林業団体と協力し、森林の多面的機能の保全を図る。 ・八王子市及び多摩地域における森林、林業の現状調査を行い多摩産材の普及、林業の再生に向けた課題を抽出し、多摩産材の普及、林業の再生を行う方策を検証する。 	27年度末時点 の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・林道維持については、各林道の状況に応じた施業が必要である。 ・木材価格の長期低迷により林業経営意欲が低下し手入れが行き届いていない山林が多く存在する。また多摩産材の利活用が積極的に行われていない状況である。
未解決			
主な 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都市町村林野振興対策協議会・東京都治山林道協会・全国森林環境税創設促進連盟・東京の森と木webサイト運営委員会へ 負担金を支援。 ・市管理林道の雑草を刈り払い、通行時の安全を確保した。 ・育林や製材、商品流通等に携わる関係者や、木材利用に関して先進的な取組を行っている自治体に対してヒアリングを行い、多摩地域における林業の現状や、多摩産材の普及に向けての課題を抽出した。 ・ヒアリングを行った林業関係者等を集めてワークショップを開催し、多摩産材の普及や林業の再生のために取り組むべき方策(アクションプラン案)を検討した。 ・上記の実施内容や、資料等を基に独自で調査した内容をまとめた報告書を作成した。 		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	計画的に施業箇所を決定し効率化を図った。
----	----------------------

今後の取組

29年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各林道の状況に応じた施業を実施する。 ・28年度は地方創生加速化交付金を活用し実施した事業であるため、本交付金を活用した調査事業は終了となるが、多摩産材の普及や林業の再生については重要な課題であるため、ワークショップで検討した方策等を参考にしながら、引き続き取り組んでいく。 	28年度末 時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・林道維持については、各林道の状況に応じた施業が必要である。 ・林業の再生については、山林所有者の合意形成や、森林整備の体制確保など、短期間で解決することは不可能であるため、継続的に取り組んでいく必要がある。
29年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市管理林道の雑草の刈り払いを行う。 ・多摩産材の普及に向けて検討を行う。 	30年度の 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市管理林道の雑草の刈り払いを行う。

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	森林管理巡視					事業類型	その他					
担当部課	産業振興部農林課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	02	林業費	目	01	林業振興費
根拠法令等	条例・要綱なし											
事業目的 (最終的に目指す状態)	林道の不法投棄や山林火災の見回りを行い、森林の適正な管理が行われていることを確認し、市民が安全で安心して生活できるようにする。											

行政コスト計算書

(単位 円)

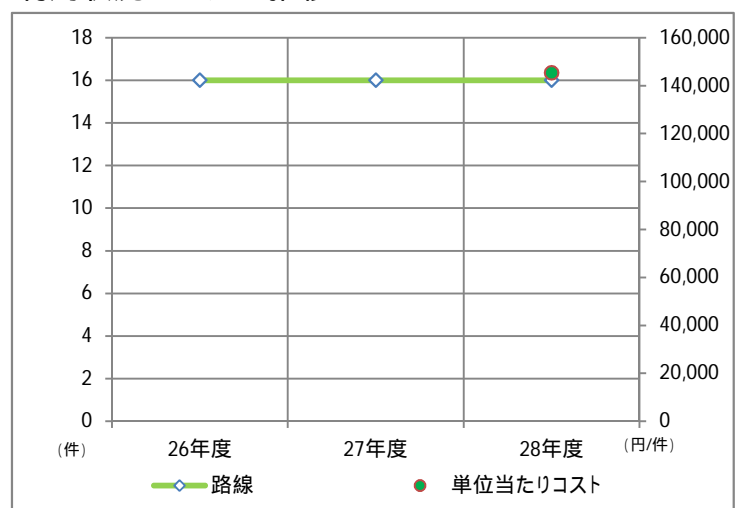
勘定科目		28年度	勘定科目	28年度		
経常費用	人件費	職員給与費	952,476	経常収入	市税	0
		賞与等引当金繰入額	77,124		保険料	0
		退職手当引当金繰入額	0		国庫支出金	0
		その他	0		都支出金	1,296,000
	小計	1,029,600	分担金及び負担金		0	
	物件費等	物件費	1,296,000		使用料及び手数料	0
		維持補修費	0		繰入金	0
		減価償却費	0		その他	53,400
		その他	0		小計	1,349,400
	小計	1,296,000	経常収支差額(A)		976,200	
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0
		その他	0		特別収支差額(B)	0
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		976,200	
	小計	2,325,600	一般財源調整額(D)		0	
移転費用	0	一般財源充当額(E)	1,169,376			
小計	2,325,600	再計(C) + (D) + (E)	193,176			

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	巡視作業業務委託料【1,296,000円】	

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.14人	0.14人	0.13人	0.01人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.14人	0.14人	0.13人	0.01人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
路線	16	16	16	0
単位当たりコスト			145,350	
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	森林の管理巡視を行うことにより、森林整備の充実及び効果的な保全管理を図る。	27年度末時点 の課題と対応	台風や積雪による倒木・土砂崩落などの早期発見、迅速な対応を目指す。
			解決
主な 活動実績	車や徒歩で、森林整備計画内の林道の巡視を140日間行った。		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	倒木、土砂崩落発生時の対応を迅速に行った。
----	-----------------------

今後の取組

29年度 目標	森林の管理巡視を行うことにより、森林整備の充実及び効果的な保全管理を図る。	28年度末 時点の課題	台風や積雪による倒木・土砂崩落などの早期発見、迅速な対応を目指す。
29年度の 取組	台風や積雪による倒木・土砂崩落などの早期発見、迅速な対応を目指す。	30年度の 計画	年間140日間の巡視を委託し、実施する。

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	森林再生					事業類型	その他					
担当部課	産業振興部農林課											
基本計画	編	6	章	3	施策番号	48	豊かなみどりの保全と活用		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	02	林業費	目	01	林業振興費
根拠法令等	東京都からの委託事業											
事業目的 <small>(最終的に目指す状態)</small>	手入れが行われず、荒廃しているスギ・ヒノキについて間伐を行う。											

行政コスト計算書

(単位 円)

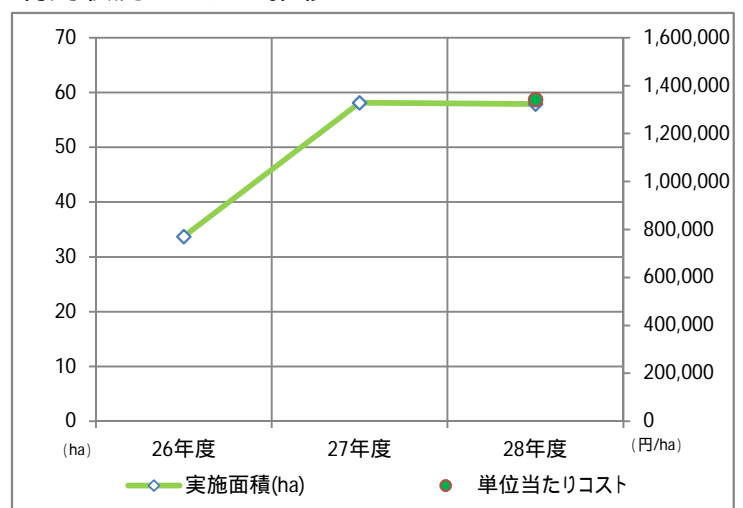
勘定科目		28年度		勘定科目		28年度	
経常費用	人件費	職員給与費	7,986,146	経常収入	市税	0	
		賞与等引当金繰入額	646,655		保険料	0	
		退職手当引当金繰入額	1,333,060		国庫支出金	0	
		その他	0		都支出金	0	
	小計	9,965,861	分担金及び負担金		0		
	物件費等	物件費	67,622,812		使用料及び手数料	0	
		維持補修費	0		繰入金	0	
		減価償却費	0		その他	67,622,812	
		その他	0		小計	67,622,812	
	小計	67,622,812	経常収支差額(A)		9,965,861		
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0	
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0	
		その他	0		特別収支差額(B)	0	
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		9,965,861		
	小計	77,588,673	一般財源調整額(D)		0		
移転費用	0	一般財源充当額(E)	9,432,146				
小計	77,588,673	再計(C) + (D) + (E)	533,715				

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	間伐作業委託料【49,389,244円】 枝打ち作業委託料【16,092,920円】	

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.71人	0.68人	1.09人	0.41人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.71人	0.68人	1.09人	0.41人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
実施面積(ha)	34	58	58	0
単位当たりコスト			1,340,741	
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	東京都の「多摩の森林再生事業」。手入れが行われず荒廃している多摩地域のスギ・ヒノキの人工林について、約73haの間伐を行う。	27年度末時点 の課題と対応	平成14年度から開始している事業であり、近年は新規間伐実施地の選定に時間がかかっている。また、枝打ち実施地についても、森林再生事業実施地から地域の選定、森林所有者との調整を行う上で、実施場所の確定に時間がかかってしまった。
			解決
主な 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子市内にある森林整備計画区域内の民有林を所有する方へのパンフレットの配布、戸別訪問及び現地調査 ・間伐実施面積 57.87ha ・枝打ち実施面積 9.81ha 		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	過去に断られた森林所有者に対しても再度アプローチを行った。
----	-------------------------------

今後の取組

29年度 目標	東京都の「多摩の森林再生事業」。手入れが行われず荒廃している多摩地域のスギ・ヒノキの人工林について、約54haの間伐を行う。	28年度末 時点の課題	実施場所の確定に時間がかかってしまった。
29年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の実施箇所の決定。 ・この事業の市民への周知。 	30年度の 計画	約54haの間伐を行う。

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	市行造林					事業類型	その他					
担当部課	産業振興部農林課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	02	林業費	目	02	市行造林事業費
根拠法令等	八王子市市行造林条例・施行条例											
事業目的 (最終的に目指す状態)	林業の振興・水源の涵養・緑地の保全を行い、土地所有者と収益を分収する。											

行政コスト計算書

(単位 円)

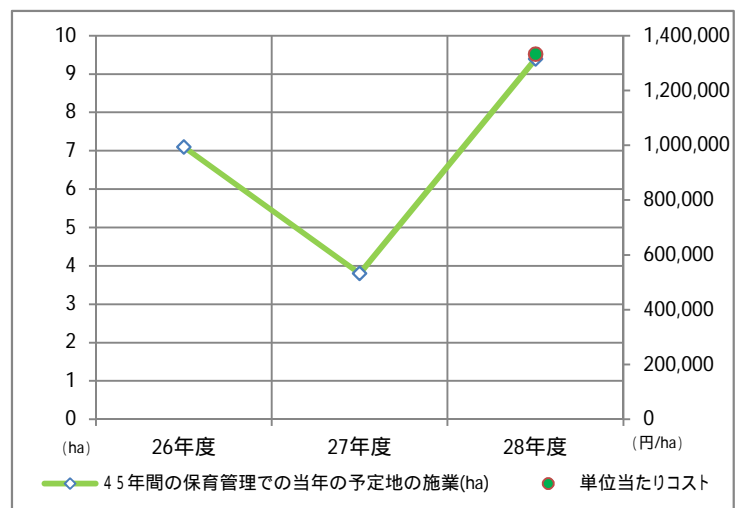
勘定科目		28年度		勘定科目		28年度	
経常費用	人件費	職員給与費	2,784,161	経常収入	市税	0	
		賞与等引当金繰入額	225,439		保険料	0	
		退職手当引当金繰入額	0		国庫支出金	0	
		その他	0		都支出金	2,424,071	
	小計	3,009,600	分担金及び負担金		0		
	物件費等	物件費	8,500,021		使用料及び手数料	0	
		維持補修費	0		繰入金	0	
		減価償却費	0		その他	304,932	
		その他	0		小計	2,729,003	
	小計	8,500,021	経常収支差額(A)		9,787,733		
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0	
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0	
		その他	1,007,115		特別収支差額(B)	0	
	小計	1,007,115	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		9,787,733		
	小計	12,516,736	一般財源調整額(D)		0		
移転費用	0	一般財源充当額(E)	10,532,387				
小計	12,516,736	再計(C) + (D) + (E)	744,654				

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	間伐作業委託料【4,186,596円】 枝打ち作業委託料【2,207,130円】 調査作業委託料【2,106,295円】 森林保険料【1,007,115円】	

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.38人	0.38人	0.38人	0.00人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.38人	0.38人	0.38人	0.00人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
45年間の保育管理での当年の予定地の施業(ha)	7	4	9	6
単位当たりコスト			1,332,986	
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	林業の振興、水源のかん養、土砂の流出・崩壊の防備及び緑地の保全を行うため、土地所有者と収益を分収する条件で、造林を行う。	27年度末時点 の課題と対応	計画どおり間伐、枝打の施業に加え、販売価格調査が入ってくることによる事業費の増加。しかし、契約満了に向けての調査は必須である。
			未解決
主な 活動実績	予定している間伐を6.73ha、枝打ちを2.66ha実施した。		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	計画的に施業箇所の決定し効率化を図った。
----	----------------------

今後の取組

29年度 目標	林業の振興、水源のかん養、土砂の流出・崩壊の防備及び緑地の保全を行うため、土地所有者と収益を分収する条件で、造林を行う。	28年度末 時点の課題	計画どおり間伐、枝打の施業行う。また販売価格調査により契約満了時の対応(そのまま返す、主伐を行う、契約を延長する等)をどのようにするか検討が必要である。
29年度の 取組	予定地の間伐、枝打、販売価格調査	30年度の 計画	計画どおり間伐、枝打の施業行う。契約満了時の対応を所有者、関係機関と協議を行う。

事業概要

事務事業評価シート(平成28年度事業)

事務事業名	市有林管理					事業類型	その他					
担当部課	産業振興部農林課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	06	農林業費	項	02	林業費	目	03	市有林管理費
根拠法令等	条例・要綱なし											
事業目的 <small>(最終的に目指す状態)</small>	市有林の適正な維持管理を行う。											

行政コスト計算書

(単位 円)

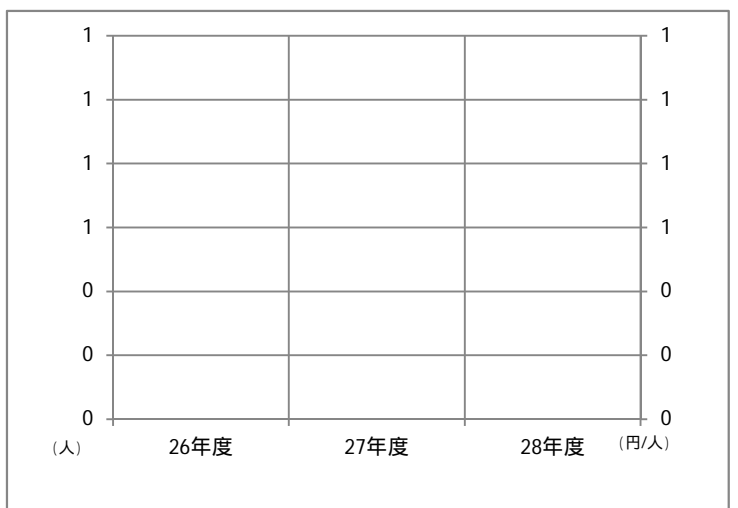
勘定科目		28年度		勘定科目		28年度	
経常費用	人件費	職員給与費	5,275,252	経常収入	市税	0	
		賞与等引当金繰入額	427,149		保険料	0	
		退職手当引当金繰入額	607,937		国庫支出金	0	
		その他	0		都支出金	5,583,939	
	小計	6,310,338	分担金及び負担金		0		
	物件費等	物件費	8,404,206		使用料及び手数料	0	
		維持補修費	0		繰入金	0	
		減価償却費	0		その他	0	
		その他	0		小計	5,583,939	
	小計	8,404,206	経常収支差額(A)		9,130,605		
	その他の業務費用	支払利息	0		特別費用	0	
		徴収不能引当金繰入額	0		特別収入	0	
		その他	0		特別収支差額(B)	0	
	小計	0	本年度収支差額(A) + (B) = (C)		9,130,605		
	小計	14,714,544	一般財源調整額(D)		0		
移転費用	0	一般財源充当額(E)	9,107,720				
小計	14,714,544	再計(C) + (D) + (E)	22,885				

	経常費用	経常収入
28年度 主な内訳	間伐作業委託料【4,105,710円】 下刈作業委託料【2,978,516円】 作製作業委託料【498,960円】	

事業の人員体制

	26年度	27年度	28年度	対前年度
一般職員	0.46人	0.70人	0.72人	0.02人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.46人	0.70人	0.72人	0.02人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	26年度	27年度(a)	28年度(b)	対前年度(b-a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

28年度 目標	主伐事業実施地の周辺森林整備	27年度末時点 の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・下刈りや間伐など、予定どおり実施できたが、整備の遅れている箇所がある。 ・八王子産材製品のPR製品の選定が必要。
			未解決
主な 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林内の下刈り 11.97ha ・市有林内の作業道の下刈り 1,722m ・市有林内の植栽箇所の下刈り 0.8ha ・市有林の間伐 4.94ha ・パソコン台を30台作成し庁内に配布 ・木材製品の試作品を作成 ・決裁板、チラシBOX、けん玉、コマなどの八王子産材製品をイベントにて展示。 		
28年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

改善・改革の取組

内容	施業が不要な箇所を現場で確認し必要な範囲で施業を行うようにした。
----	----------------------------------

今後の取組

29年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林の整備 ・高尾周辺市有林内の林道、作業道の整備 	28年度末 時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・下刈りや間伐など、予定どおり実施できたが、整備の遅れている箇所がある。 ・八王子産材製品のPR製品の選定が必要。
29年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・南浅川町以外の市有林の整備 ・下刈り箇所の選定 ・市有林の植栽状況確認 ・林道、作業道の倒木の撤去 ・八王子産材を使った新たなPR製品の作成 	30年度の 計画	未整備森林への整備の着手

